



知恵と工夫と住民力で 中山間地域農業の未来を切り開く

N P O 法人 ゆうきの里 東和ふるさとづくり協議会の挑戦

Yuki Village Council of Building Towa Home Village

武藤 一夫(前理事長、現理事)

東和はこんなところですよ

東京からおよそ3時間。
福島県の阿武隈山系の中に
「東和」があります。
そこには、あったかい人達がいて、
豊かな自然が広がります。

【気候】

雪は多くないが、
年に数回は20～30cmの
積雪がある。
雪が降る真冬の期間は
12～2月ほど。

【言葉・あいさつ】

あいさつは
「ど～もない」(どうもね)と、
「まんま食ってがっせ」
(ご飯食べていきな)

【地形】

平場は少なく小さな山に囲まれた、正に
「The 里山」。大変のどか。
中小規模の農地で少量多品種生産の
農家が多い。

【合併二本松市】

平成17年に二本松市、安達町、
岩代町、東和町の1市3町が合併。
現在は、「東和地区」として二本松市の一部となっています。

【交通・アクセス】

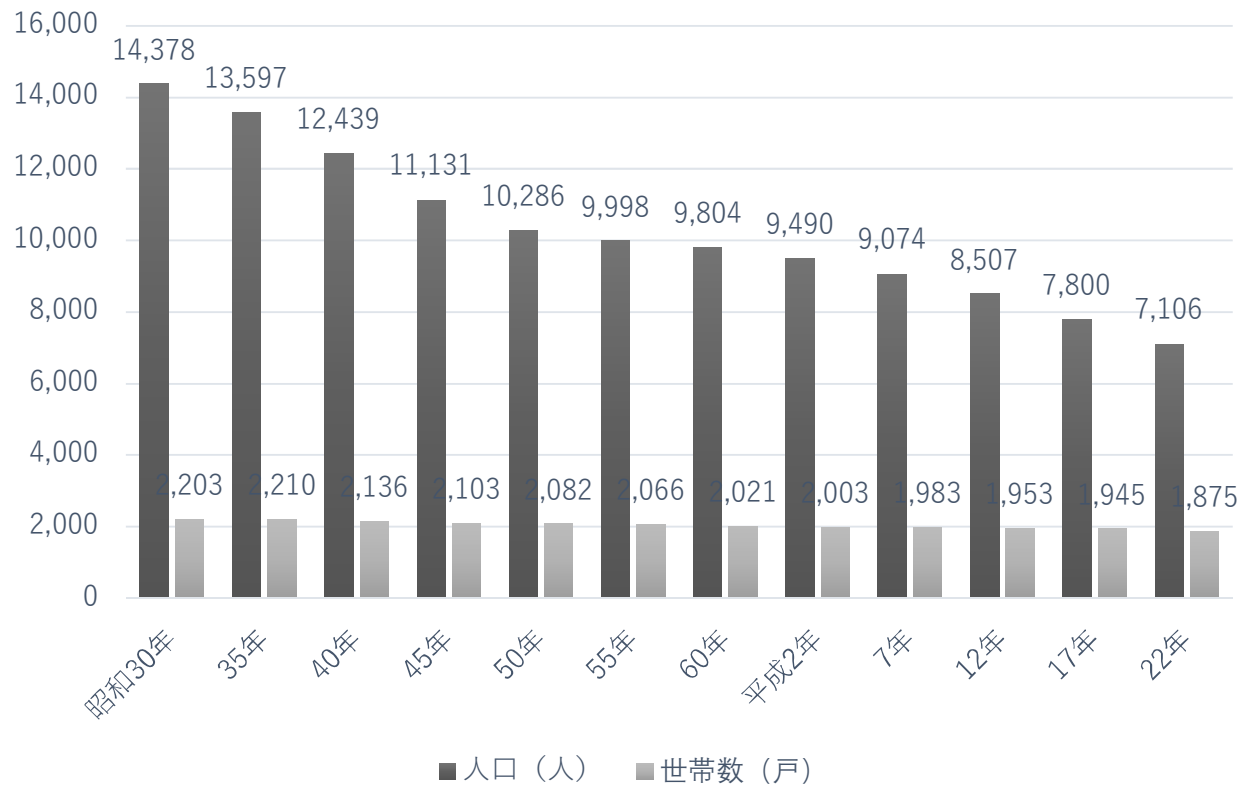
JR二本松駅から東和までは車で約20～30分。
二本松駅から東和行きのバスもあるが、1～2時間に1本程度。

【統計】

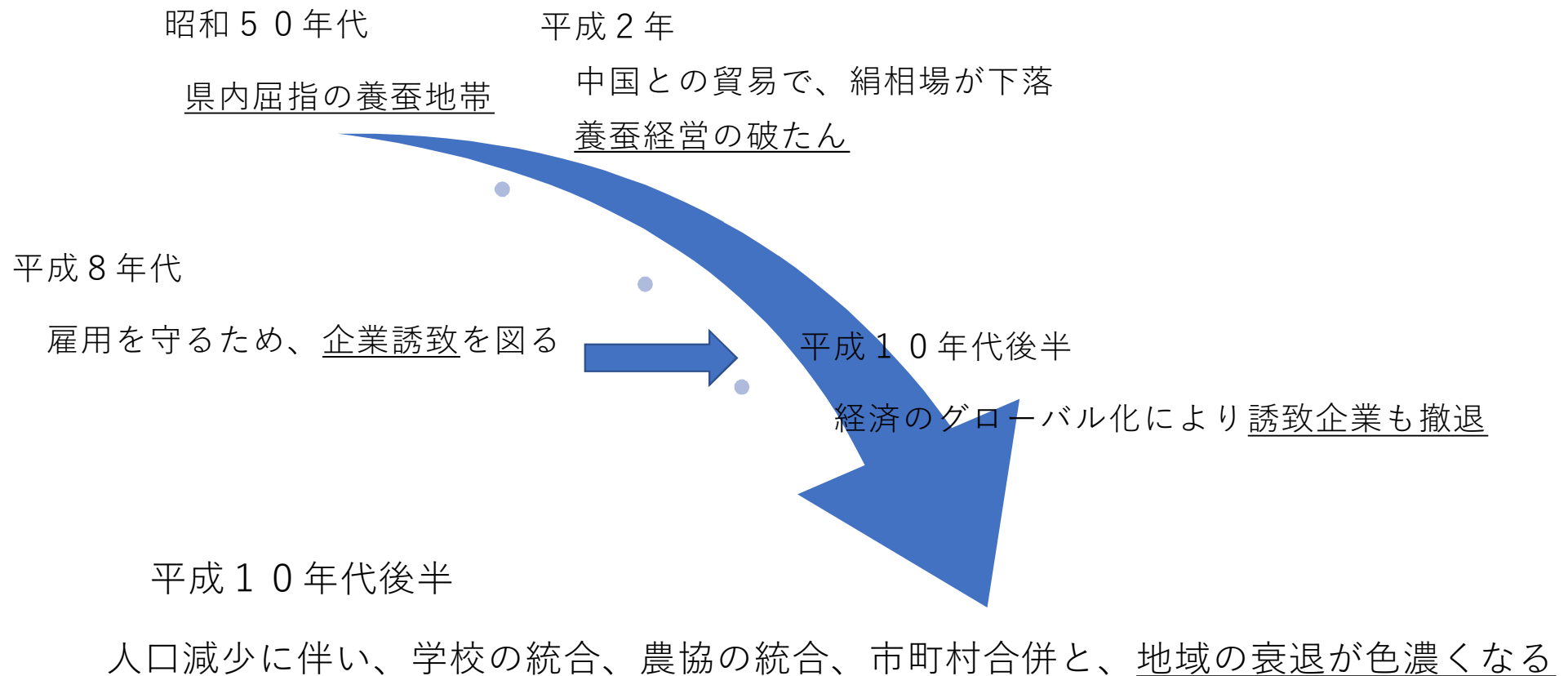
・人口/6,970人
・世帯数/2,048世帯
・高齢化率/約35%
(平成28年2月29日時点)



都市への一極集中・・・地方の 疲弊が始まる



1. むらづくりの経緯 地域の衰退





嘗て、青年団で地域を語った
9人が集結仲間が
酒を飲みかわし地域を語り合った

市町合併を機に、 自立する地域づくりを目指す

•道の駅ふくしま東和を拠点とし指定管理者 の業務活動地域づくり

- 地域の農産物・特産品・加工品・工芸品などを販売を業とする
- 地域の交流の拠点としての業務
- 住民の福祉活動

2, ゆうきの里構想（むらづくり活動）

○地域の仕事をつくる

交流を通し地域のファンを作る

る

「げんき野菜」のブランド

堆肥センター

里山の環境を守る循環型農業

特産品づくり

6次産業化

山林・農地再生

新規就農者

移住推進

持続可能な地域経済



震災復興プログラム
の作成・実践

放射性物質測定

販売物に情報開示

健康調査の実施

ないものねだりではなくあるものさがし

（養経営で育成された有機農業 桑蚕の葉の活用など）



Our values and objectives
地域住民が自ら考える地域づくりを目指す
もう頼るものはない



slogan 1
里山の恵みと人の輝くふるさとづくり

先人の文化を踏襲し、
ないものねだりからあ
るもいかし。



slogan 2
君の自立 ぼくの自立がふるさとの自立

他力本願は、ある意味
ゆでガエルを意味する。

(3) NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会の理念

- 1 有機農法での安全安心野菜作り
- 2 地域の問題に対して勇気を持って地域づくりに取り組む。
- 3 地域の人々、消費者等都会の人々たちとのゆうき的なお付き合い。
- 4 合併以前から人材育成で組織された多くの団体・・・協議会



「ゆうきの里東和」宣言

- [illegible]

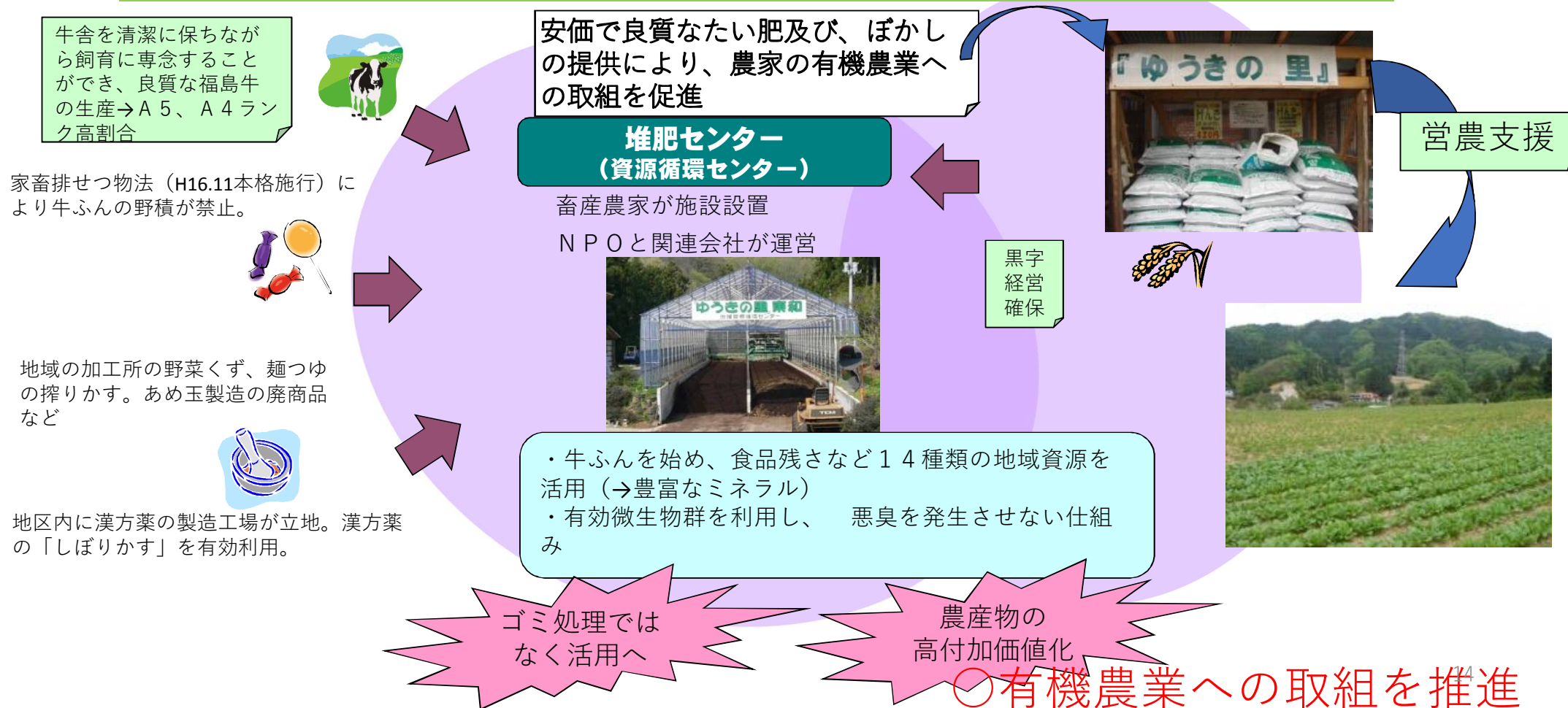


「ゆうきの里東和」宣言 里山再生プロジェクト

1. 里山の美しい景観や生態系を守るため
2. 里山に生活の糧を見出す
3. 生産物は、げんき野菜のブランドで安全安心を提供
4. 消費者を巻き込む生産販売活動
5. 東和を目指す新規就農者・集落のコミュニティの再生に力
6. 里山の整備により、多様な生物との共生



4. むらづくり活動の内容（農業生産面） （1）堆肥センターの設置・運営





自然循環の堆肥センターの活用
自然豊かな里山の恵みを生かした地域活性化・
多くの産地野菜の中からどう選んでもらう

生産する野菜の差別化

「げんき野菜」のブランドづくり



•野菜ブランド東和「げんき野菜」

- 1 土壌診断年 1 回以上
- 2 施肥計画の提示と指導
- 3 農薬化学肥料の使用を特別栽培基準に指導
- 4 栽培履歴書の提示
- 5 葉物野菜の硝酸イオン量が
EUガイドライン以下な
ど、5 項目の独自基準による栽培
- 6 放射性物質の測定

野菜の放射能の量を測定し開示する

○独自認証ブランド東和「げんき野菜」を生産

○ 相談窓口や農業研修などを通じて受入

新規就農者の受入

相談体制整備

農業研修

福島県及び二本松市と共同で
窓口を設け、首都圏等からの
移住希望者の相談

- ・希望に応じ、**半年から1年間程度の農業研修**を受入れ(理事長宅等に寄宿)
- ・農業技術、地域への順応性などを見極め

都市農村交流

定住・二地域居住者への支援

新規就農・移住



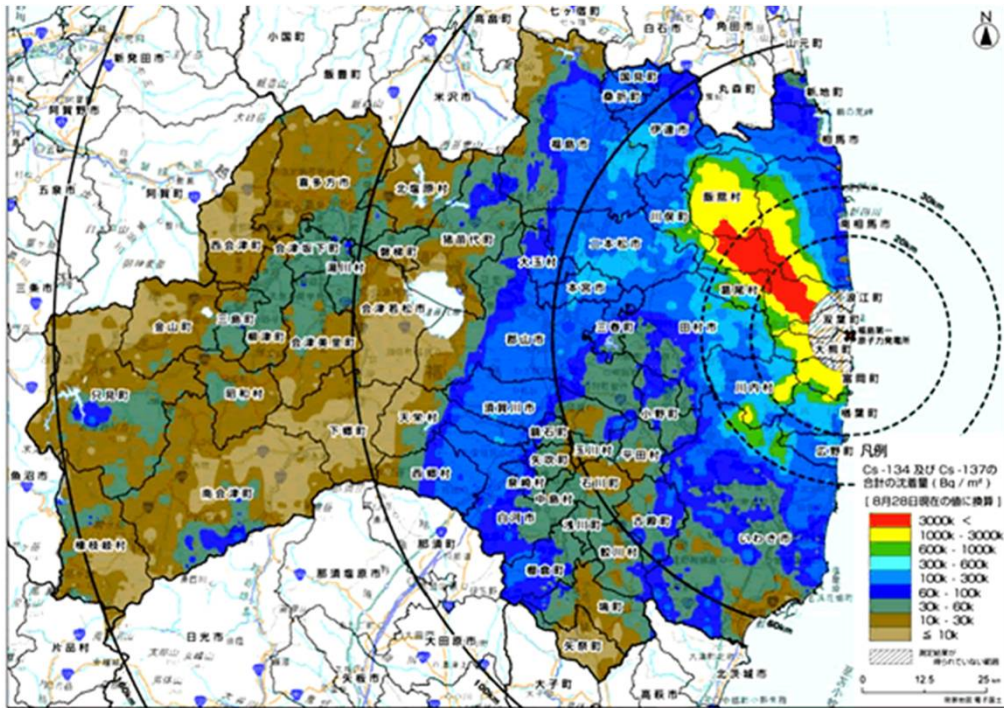
- ・空き家、空き農地の賃貸相談
- ・特別・有機栽培に係る営農支援

- ・栽培した農産物の販売
- ・道の駅の職員・パートへの積極的登用

- ・地域コミュニティの一員として定住
- ・有機農業の担い手

- ・東和地域グリーンツーリズム推進協議会を組織
- ・子ども農山漁村交流プロジェクトなどによる農業体験受入れ
- ・東京都各区民祭りへの参加

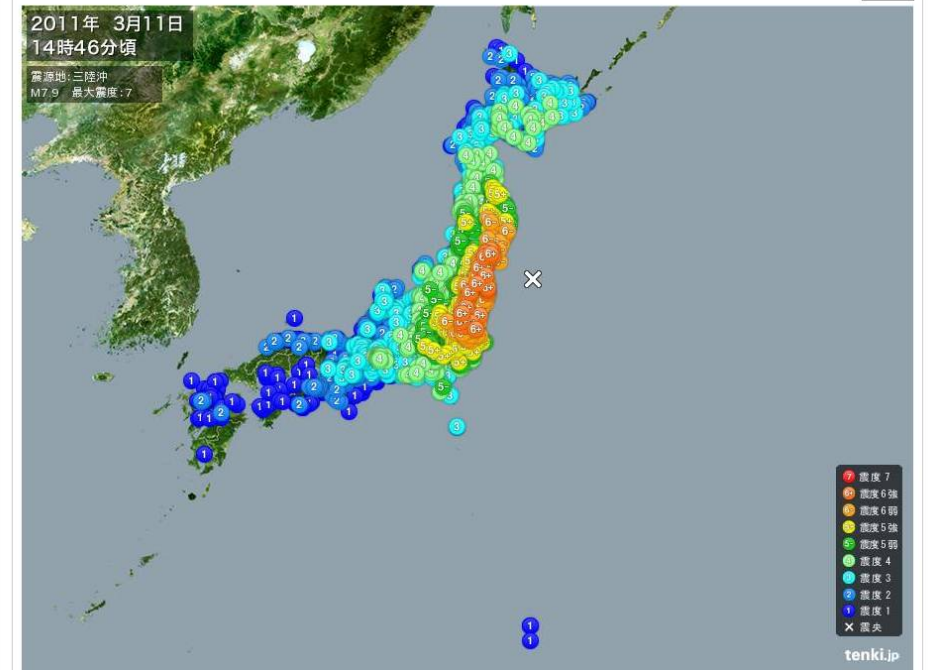
- ・地域コミュニティの維持・活性化
- ・荒廃した空き家、耕作放棄地の発生防止
- ・高齢化が進む農業従事者の後継



地震情報(拡大画像)

2011年3月11日 15時1分発表

最新の情報を見るために、常に再読み込み(更新)を行ってください。再読み込み



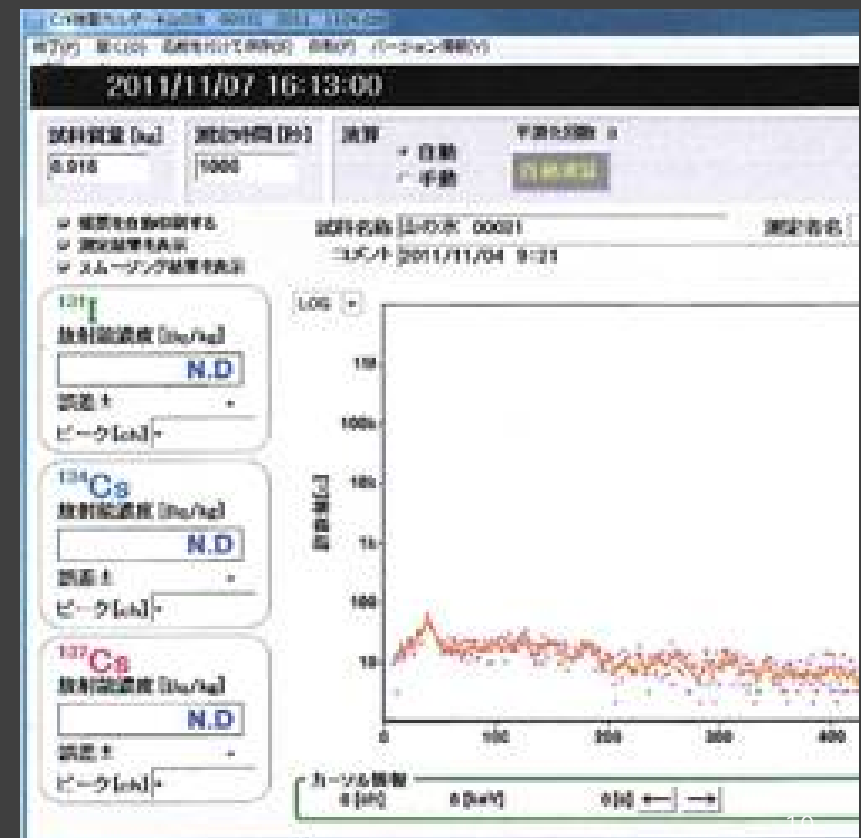
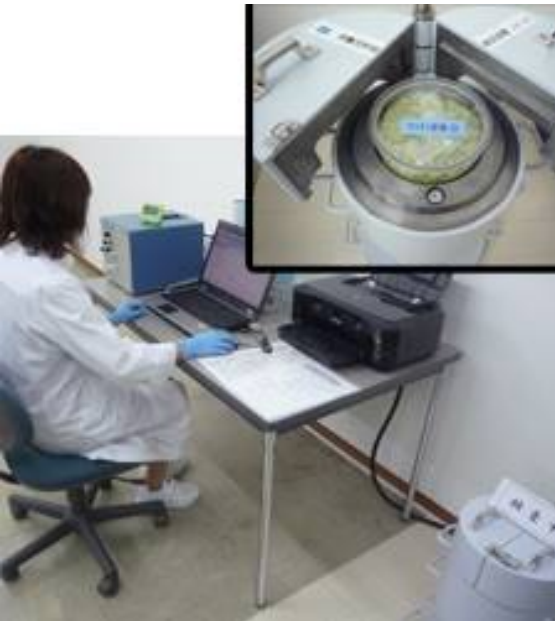
青天の霹靂

2011年

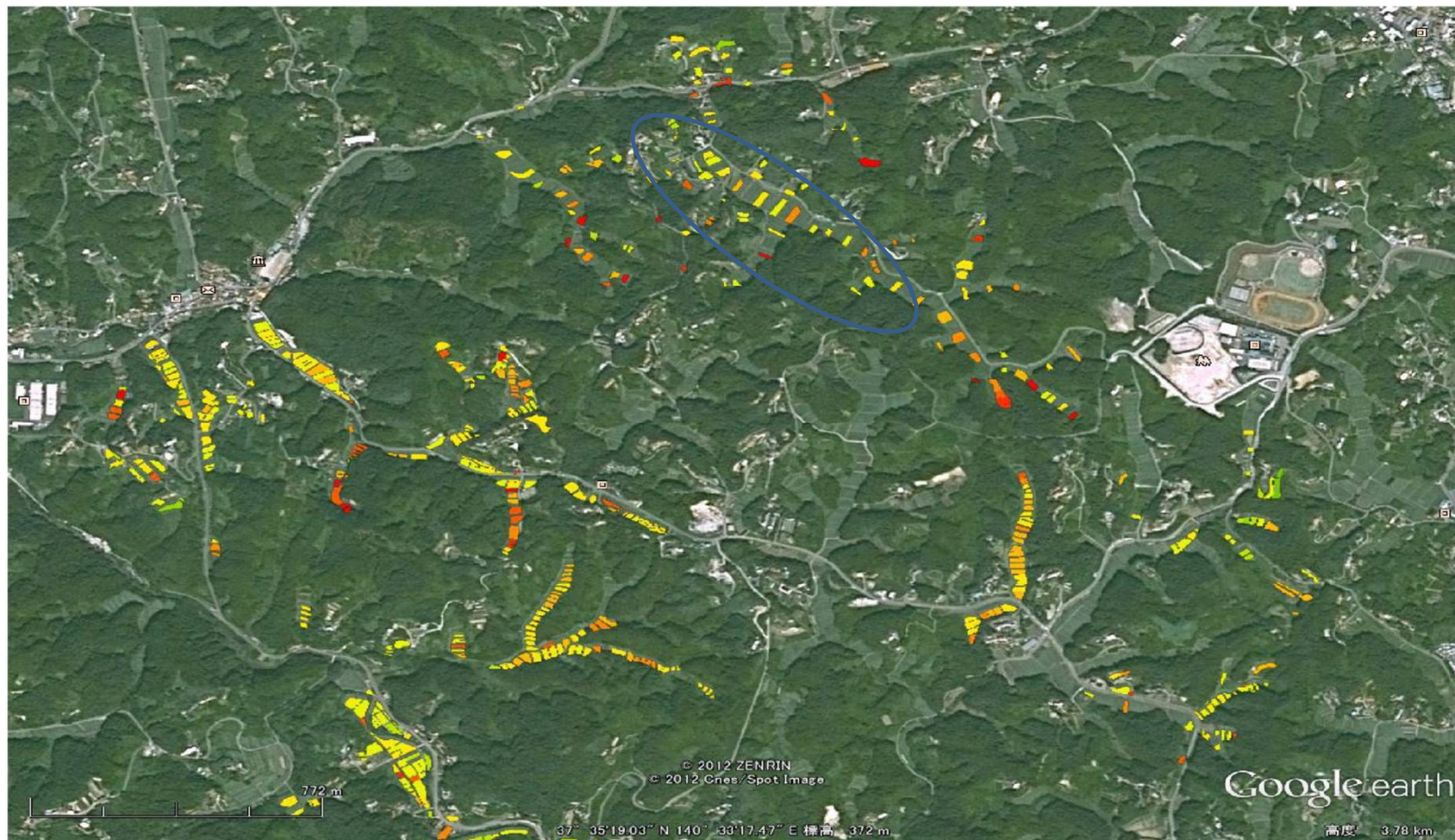
3月11日

14:46

放射能測定 民間の団体から貸与 市民放射能測定所と連携



二本松市東和地区（約 2 0 0 0 ヶ所）



放射性物質測定

9000検体以上

会津若松市

ID	採取地	購入先	品名	測定値:Bq/Kg (検出限界)			採取日	測定日	測定時間 (秒)	測定機器	測定所	備考
				I131	Cs134	Cs137						
9483	二本松市 (towa)	不明	ねぎ		ND (3.68)	ND (3.31)	2012- 11-18	2012- 11-20	1800	FNF401	CRMS二 本松市東 和	
9159	二本松市 (towa)	不明	大根		ND (4.90)	ND (5.43)	2012- 10-14	2012- 10-15	1800	AT1320A	CRMS二 本松市東 和	
6781	二本松市 (towa)	不明	じゃがいも		ND (4.56)	ND (5.09)	2012- 07-22	2012- 08-31	1800	AT1320A	CRMS二 本松市東 和	
2822	二本松市 (towa)	不明	じゃがいも (北あかり)		ND (5.04)	ND (5.61)	2011- 07-31	2011- 12-18	1800	AT1320A	CRMS二 本松市東 和	備考
9160	二本松市 (towa)	不明	大根葉		ND (5.45)	ND (6.05)	2012- 10-14	2012- 10-15	1800	AT1320A	CRMS二 本松市東 和	
9165	二本松市 (towa)	不明	趣味噌		ND (4.59)	ND (5.08)	2011- 10-15	2012- 10-16	1800	AT1320A	CRMS二 本松市東 和	
10405	二本松市 (towa)	不明	大豆		ND (5.57)	ND (6.19)	2012- 11-15	2013- 01-21	1800	AT1320A	CRMS二 本松市東 和	

豊かなむらづくり顕彰事業
日本農林水産祭り（201

他地域への普及性と今後の発展方向
本取組は、桑を活用した特産品の商品化
有機栽培野菜など独自認証ブランドの生産

東日本大震災後もいち早く復興に向けて活動
都市と農山漁村の交流、移住推進にも成果
今後の発展が大きく期待できる。

衰退した養蚕業、原子力発電所事故などの困難な条件を克服し、地域資源や地域特性を活かした自主的努力と創意工夫を図っており、全国におけるむらづくりのモデル事例になり得るものである。



大学調査関係者から 一般人も交え民宿を生かした都市住民、外国人観光客との交流が活発に



学生の受入れ



企業との連携の取組



外国人の受入れ（祭り体験など）

交流人口の増加・交流対象の拡大

地域を面的に共有する



静かで質素な生活は、絶え間ない不安とともに成功を追い求めるよりも多くの喜びをもたらす

まとめ

- 中山間地域の悩みは現在抱える高齢化社会の問題と酷似する。
- 高齢者支援において、東和の高齢者は生きがいをもって生活する。
- ポイント
 - あくまでも当事者の考え方⇒やる気のない中での支援は。
 - 何をどうしたいかというのも当事者
 - ポイントが分かれば効果が見える。
 - 総じて、勝手に回りだす。